

秋の火災予防運動 11.9(日) ▶11.15(土)

防火標語「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

火災予防運動とは

火災予防運動は、火災予防思想の普及を図り、火災の発生を防止することを目的とした啓発活動です。

毎年全国一斉に「春」と「秋」の年2回行われ、春の火災予防運動は1年を通して一番火災の発生件数が多いといわれている3月に、3月1日から3月7日まで、秋の火災予防運動は「119番」にちなんで、11月9日から11月15日まで行われるよ！

火災予防運動の起源は、1871年10月8日シカゴ大火(17,500棟焼失・死者250人)の40周年に際し行われた、1911年10月9日にアメリカ全土にわたって初めて行われた「火災予防デー」といわれています。

日本で全国火災予防運動が行われるきっかけとなったのは、昭和2(1927)年3月7日に、京都府北部を襲ったマグニチュード7.5、全半壊住宅12,548戸、焼失家屋3,711戸、死者・行方不明者2,925人もの被害をもたらした北丹後地震です。

出火原因別火災発生状況(令和6年)

順位	長野県				順位	松本広域消防局			
	令和6年		令和5年			令和6年		令和5年	
	原因	件数	原因	件数		原因	件数	原因	件数
1位	たき火	106	たき火	171	1位	たき火	16	たき火	28
2位	火入れ	38	火入れ	90	2位	火入れ	7	火入れ	21
2位	ストーブ	38	たばこ	39	2位	ストーブ	7	たばこ	8
4位	こんろ	33	こんろ	39	4位	配線器具	6	配線器具	7
5位	電気機器	28	ストーブ	31	5位	こんろ	5	こんろ	5
6位	※注・調査中の火災	27	放火	29	5位	電気機器	5	電気機器	5
7位	たばこ	24	※注・調査中の火災	22	5位	放火の疑い	5	排気管	4
8位	放火の疑い	22	電気機器	21	8位	放火	4	焼却炉	3
9位	放火	18	排気管	19	9位	たばこ	3	※注・調査中の火災	3
10位	配線器具	16	配線器具	17					
			放火の疑い	17					
	その他	246	その他	248		その他	38	その他	30
	不明・調査中	95	不明・調査中	104		不明・調査中	24	不明・調査中	23
	総数	691	総数	847		総数	120	総数	137

★Point

昨年は120件の火災が発生し、1位が「たき火」で16件、2位が「火入れ」「ストーブ」で7件でした。「たき火」「火入れ」が多いのは、農家が多く山に囲まれた長野県ならではの特徴です。



火の用心 7つのポイント

- 1 家のまわりに燃えやすいものを置かない。
- 2 寝たばこやたばこの投げ捨てはしない。
- 3 天ぷらを揚げるときは、その場を離れない。
- 4 風の強いときは、絶対にたき火をしない。
- 5 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない。
- 6 ストープには、燃えやすいものを近づけない。
- 7 住宅用火災警報器を設置し、点検をおこなう。

守らないと火事になるぞ～！！



怪人
カジンダー

キャラクター

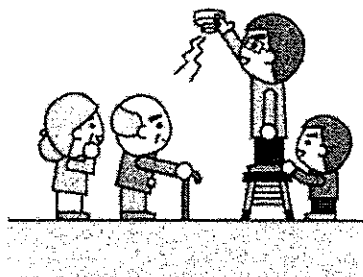
松本広域消防局非公式

住宅防火 いのちを守る 10のポイント

～4つの習慣・6つの対策～

☆4つの習慣☆

- 寝たばこは絶対にしない、させない。
- ストープの周りに燃えやすいものを置かない。
- こんろを使うときは火のそばを離れない。
- コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く。



☆6つの対策☆

- 火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- 火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく。
- お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。



みなさんと私たちで 火災「ゼロ」を目指しましょう！



お問い合わせ

松本広域連合 芳川消防署神林出張所
〒390-1243 松本市神林5961番地1

TEL(FAX) 0263-86-0119

mail shobo_kanbayashi@m-kouiki.or.jp